



図4 法隆寺 絵殿、舍利殿



図3 法隆寺 夢殿

夢殿は、八角円堂の建物で、本尊の救世観音像を安置している。救世観音像は、太子と等身の大きさとされており、秘仏となっている。

法隆寺再建非再建論争

現存する法隆寺の西院伽藍については、金堂、五重塔、中門、回廊の建立年代をめぐって、かつて論争が繰り広げられた。

『日本書紀』天智天皇九年（六七〇）四月条には、法隆寺は、一屋も残ることなく罹災したと記されており、その伽藍は火災によって焼失したことになる。しかし、この記事を肯定すると、現存する西院伽藍の建立年代が問題になってくるのである。七世紀初頭において、聖徳太子が西院伽藍を創建し、それがそのまま現在に至ったものなのか、あるいは、その天智天皇九年四月に西院伽藍が焼失して、そのあとに再建されたものであるのかをめぐって、論争がなされた。非再建説は、関野貞、平子鐸嶺らの建築や美術を専門とする研究者たちによって唱えられた。

『日本書紀』は、法隆寺（斑鳩寺）の創建時期について記していな



図24 平間寺 聖徳太子堂

社（港区高輪に所在）にも太子堂があるが、この太子堂は、廃寺となった常照寺の太子堂を受け継いだものである。

また、都内近郊の平間寺（川崎大師、神奈川県川崎市川崎区大師町）にも、聖徳太子堂がある（図24）。聖徳太子の威徳をたたえるため、太子の正忌日にあたる二月二十二日に、年祭法要を毎年おこなっている。

と万人の幸福を祈願しました」（太郎坊阿賀神社公式ホームページより引用）と、太子との関係を説明している。

（4）仏堂

神社に限定されず、聖徳太子そのものを祀る場合は、ほかにも全国的に数多くある。

都内の寺院にある仏堂としては、源証寺（足立区入谷に所在する）の太子堂、明福寺（江戸川区江戸川）の太子堂、南蔵院（葛飾区東水元）の太子堂などをあげることができる。高輪神